

全国高校総体

第6日

全国高校総体（インタ） 高知県立春野総合運動公園テニスコートほか
1ハイ）第6日は2日、園テニスコートなどで行

われ、県勢はテニスの女子シングルスで砂田未樹（松商学園）が準決勝を突破し、3日の決勝進出を決めた。

テニス

（高知県立春野総合運動公園テニスコートほか）

▽男子シングルス1回戦

山田 矢音 6-0 北沢 諷開
（東京・東海大菅生）
市吉 風音 棄権 山田 聖生
（高知・土佐商学）
佐野 愛斗 6-4 木下 翔希
（長野・松商学園）
佐野 松 6-4 島みらい 創生

▽同2回戦

中島 稀星 6-4 佐野 愛斗
（福岡・柳川商学）
▽女子ダブルス1回戦

瀬吉 松戸 田 7-5 桐岡 楓
（長野・松商学園）
瀬吉 松戸 田 6-4 岩井 東佐上
（長野・松商学園）
瀬吉 松戸 田 7-5 京女学院

▽同3回戦

瀬吉 松戸 田 8-5 田里 相島
（長野・松商学園）
▽同4回戦

瀬吉 松戸 田 8-5 繁川 京益口
（長野・松商学園）
瀬吉 松戸 田 8-5 都外大西

▽男子ダブルス1回戦

山田 麗野 6-2 関石 口井
（長野・松商学園）
山田 麗野 6-4 金中 村
（長野・松商学園）

▽同2回戦

山田 麗野 6-4 金中 村
（長野・松商学園）
▽同3回戦

山田 麗野 6-4 岩手 岩手
（長野・松商学園）
山田 麗野 6-4 山田 麗野
（長野・松商学園）

▽女子シングルス1回戦

砂田 未樹 6-1 坂本 来瞳
（長野・松商学園）
砂田 未樹 6-1 本学園大

▽同2回戦

砂田 未樹 6-1 長谷川 美愛
（長野・松商学園）
砂田 未樹 6-3 白鳥 女
（長野・松商学園）

▽同3回戦

砂田 未樹 8-5 西村 佳世
（長野・松商学園）
砂田 未樹 8-5 和女
（長野・松商学園）

砂田松商 粘って決勝へ

テニス

（高知県立春野総合運動公園テニスコート）

▽女子シングルス準々決勝

砂田 未樹 8-1 高原 千佳
（長野・松商学園）
砂田 未樹 8-4 小林 杏菜
（長野・松商学園）
▽同準決勝

▽同ダブルス準決勝

砂田 未樹 8-4 一葉大付
（長野・松商学園）
砂田 未樹 8-4 一葉大付
（長野・松商学園）

全国選抜大会との2冠を狙った団体戦で、3回戦敗退を喫してから中3日、主将を務めるテニス女子シングルの砂田未樹は、仲間との粘り勝ちで、3日の決勝進出を決めた。

仲間の分まで 抜群の集中力

女子単

は、仲間の思いを背負うかのように準々決勝と準決勝を突破した。

準決勝は一段と強い日差しが照りつける中での試合となった。「いつもは先のことを考えると焦ってしまう。ポイント、ポイント集中して臨め

た」。4歳上の兄の友人で、インターハイの優勝経験者から受けた「集中した方が勝つ」という助

言を踏まえ、持ち味の強打ではなく粘り強くラリーを展開。4-4と競り合ったが相手にミスが増え、4ゲームを連取した。

「暗いところに花は咲かない」を合言葉に掲げるチームの武器は、笑顔と明るさだ。団体戦で敗れた日の夜は山田監督の発案で、感染対策を徹底した上でしゃぶしゃぶの食べ放題に行き、気持ちの切り替えを図ろうとした。

だが実際は、「全然切り替えられなかった」と砂田。それでも前を向けたのは仲間の存在だ。シングルスが始まった前日まで引きずっていたと明かしたが、「個人戦に出られない選手もいる。そのためにも頑張りたい」と奮起し、団体では届かなかった夏の頂点まであと一歩のところまで来た。

3日の決勝は自身にとって最後となるインターハイの試合だ。「決勝だからといって身構えず、最後まで集中してやり切りたい」。最高の結果で締めくくることが出来るか。（片井雅也）



テニス女子シングルス準決勝 高い集中力を発揮し、決勝進出を決めた砂田未樹